

新たな入学者選抜制度に関する Q & A

Q 新たな入学者選抜制度を導入するのはなぜですか。

A 入学者選抜制度の現状を改善し、課題の解消を図るためです。

新たな入学者選抜制度では、1回の検査の中で、特色型と総合型の2つの観点で評価する段階選抜とし、多様な観点から、受検者の優れた点をより積極的に評価する制度となります。また、制度改善に伴う日程の見直しにより、中学校、高校で授業時間の確保ができるなどのメリットもあります。このほか、これまで前期選抜で多数の受検者が不合格となり、その大多数が後期選抜で同じ学校・学科を受検し合格している状況を改善でき、受検者の不要な心理的負担を解消することもできます。

Q 新制度でも、部活動や生徒会活動など、中学校での活動実績は評価されますか。

A 現行制度の前期選抜では、中学校での活動実績等を重視した選抜を、後期選抜では、主に学力検査の結果を重視した選抜を行っていますが、新制度でも部活動や生徒会活動など、中学校での活動実績は引き続き評価されます。また、中学校の活動以外の実績等(中学校に設置されていない部活動や個人的に取り組む活動等)を選抜の際の評価に加えることも検討していきます。

Q 通学区の扱いはどうなりますか。

A これまでと同様に、全県一学区を継続します。

Q 定時制課程選抜はどうなりますか？

A 現行制度では、定時制課程選抜を、全日制・フレックススクールの後期選抜に合わせて実施しています。新制度では、定時制課程選抜を全日制・フレックススクール選抜の本検査に合わせて行い、再募集も全日制的再募集と同日に実施します。また、再募集後の追加募集を4月に実施していましたが、新制度では年度内に実施する予定です。

Q 受検の準備はどのようなことをすればよいですか。

A 新しい入学者選抜制度でも、これまでどおり、学力検査の結果だけでなく、中学校等での様々な活動の様子や成果も丁寧に評価していきますので、学習や部活動をはじめとする中学校生活全般にしっかりと取り組むことが大切です。また、全員が受検することになる面接では、中学校内外での取組や高校生活での抱負などについて、しっかりとアピールできるよう準備をしてください。

Q 各高校の情報を知りたいのですが、各高校の情報はどのように調べられますか。

A まずは各高校のHPを調べてみましょう。

「群馬県のハイスクールガイド」のHP (<http://www.cms.gsn.ed.jp/nc/hsg/htdocs>) →
からも各校の情報にアクセスすることができます。



また、各高校で開催される、体験入学や学校説明会等にも積極的に参加してください。

本パンフレットは「群馬県公立高校入学者選抜制度の改善方針」(令和3年8月20日)を基に、令和6年度入学者選抜制度についてまとめたものです。
(全文はこちら [https://www.pref.gunma.jp/03/x28g_00273.html])

群馬県教育委員会事務局 高校教育課

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 電話 027-226-4644

令和6年度入学者選抜から
(令和3年度の中学1年生が受検)

群馬県公立高校の 入学者選抜制度 が変わります

主な変更点

- 01 特色型と総合型の2つの観点で、受検者の優れた点をより積極的に評価します。
- 02 前期選抜と後期選抜で定員を分割している現行制度を見直し、1回の本検査で全ての定員を選抜します。

令和3年8月

群馬県教育委員会

新たな入学者選抜制度の概要

価値観が多様化し、未来の予測が困難な今の時代を生きる子供たちには、自ら課題を見だし、解決に向けて考える力や多様な人々と協働する力、新たな価値を生み出す力などが求められています。群馬県では、そうした力を持つ「始動人」の育成と現行の入学者選抜制度の課題の改善を図るため、多様な観点から受検者の優れた点を積極的に評価する、新たな入学者選抜制度を導入することとしました。

入学者選抜制度改善のポイント

1回の本検査で、特色型と総合型の2つの観点による段階選抜を行い、受検者の優れた点をより積極的に評価します。

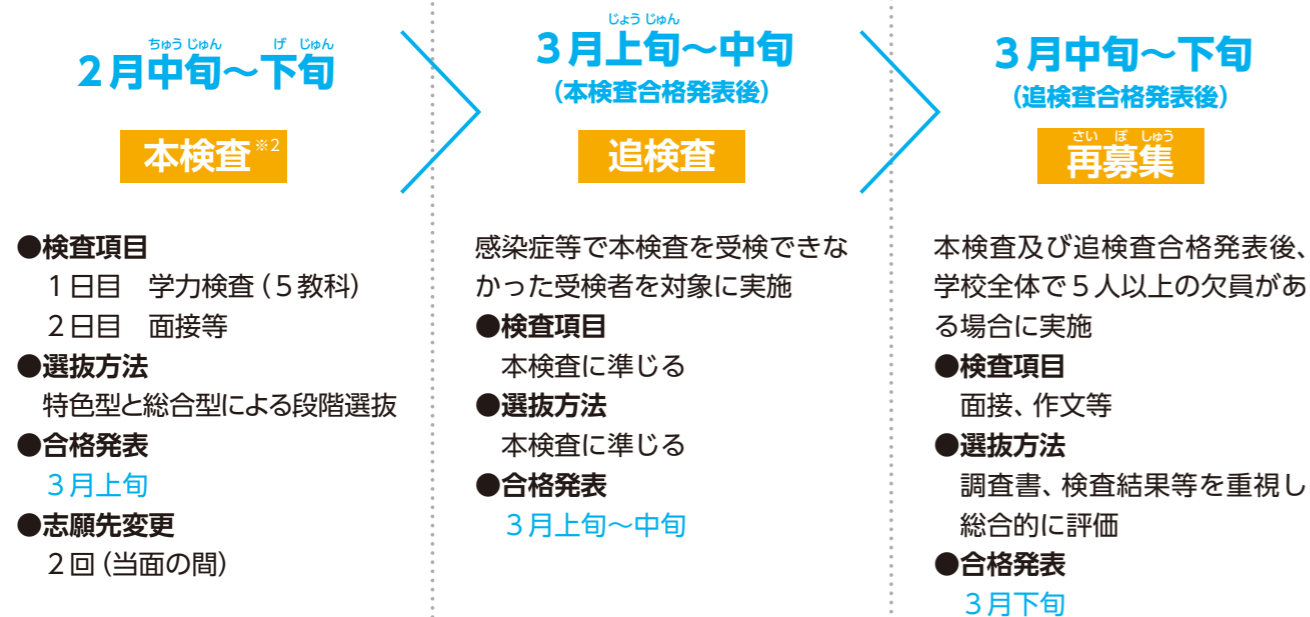


入学者選抜制度改善のメリット

- 01 全ての受検者が学力検査と面接を受検する1回の入学者選抜とすることで、シンプルで分かりやすい制度とすることができる。
- 02 多面的な観点で受検者の優れた点を評価することで、入学後の「始動人」の育成につなげ、新しい大学入試制度*1や社会の変化に対応した生徒の育成を行うことができる。
- 03 前期選抜で多数の受検者が不合格となる状況を改善することで、不要な心理的負担を解消することができる。
- 04 感染症等に対応するための追検査を、本検査から十分な期間を空けて実施できる。

*1 2021年から大学入試センター試験に代わり、大学入学共通テストが導入され、総合型選抜(旧BAO入試)や学校推薦型選抜(旧推薦入試)を実施する大学が増加するなど、これまで以上に自ら考え、表現する力が必要とされるようになります。

新制度のスケジュール



※2 フレックススクール選抜・連携型選抜の詳細については今後定めます。

本検査の選抜方法

選抜の観点(型)

1回の検査で、2つの観点(型)による段階選抜を実施します。



特色型

- ・募集人員は定員の10～50%
- ・学習意欲や学校内外での活動歴等を重視し評価

総合型

- ・募集人員は定員の50～90%
- ・学力検査の結果を重視し評価

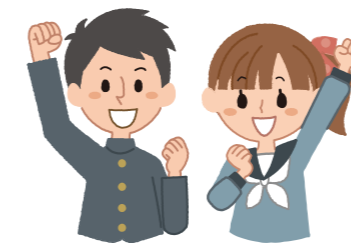
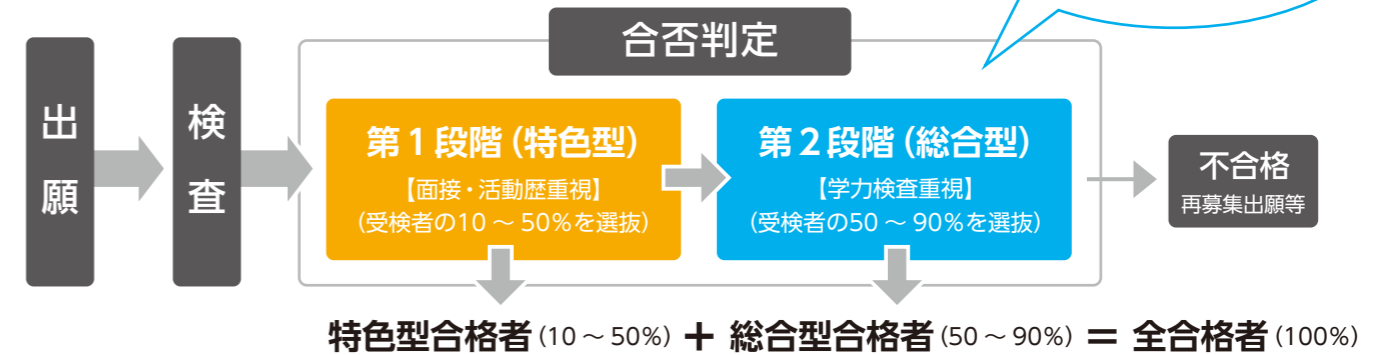
選抜のイメージ

検査を1回とし、全ての受検者を対象に、「特色型」、「総合型」の2段階で選抜を行います。

例えば… 定員200名、特色型50%、総合型50%の高校の場合

- ①最初に、全ての受検者を対象に、「特色型」の観点で第1段階選抜を行い、100名(50%)の合格を決定します。
- ②次に、「特色型」の合格者を除いた受検者を対象に、「総合型」の観点で第2段階選抜を行い、残り100名(50%)の合格を決定します。
- 「特色型」及び「総合型」の募集人員の割合や選抜の順序等については、「令和6年度群馬県公立高等学校入学者選抜実施要項」等で、学校ごとの詳細を示します。

受検者は、出願の際に特色型・総合型のどちらで受検するかを選ぶ必要はありません。



1回の受検で、2つの観点で評価してもらえるチャンスがあるんだね!

その他

①エントリーシート(志願理由書)

- ア 提出趣旨の明確化
 - ・面接等で活用する
- イ 様式等の見直し
 - ・受検者が取り組みやすい内容となるよう工夫する
 - ・コピーの提出とする(令和4年度入学者選抜より導入)

②学力検査の内容

- ・検査時期の早期化に応じ、中学校の学習状況等に配慮する

③定時制課程の追加募集(再募集後)

- ・追加募集日程を3月下旬に設定する

④出願手続

- ・出願手続の電子化を検討する